

新たな年を迎える準備はできていますか？

新たな年を 迎えるにあたって！

今年は、皆さんにとってどんな年でしたか？来年をどのようにしたいですか？一年を通して、よかったなあと思っている人は続けてよい年になるように心がけてください。あまりよくなかったなと思う人は、どの点がよくなって、どうすればよくなりそうなのかを考えてみてください。年末年始を迎えて、一年を振り返り、新年をよい年にするために立ち止まって考える。そのタイミングが冬休みです。さて、3年生にとって、この冬休みはラストスパートの絶好の機会です。体調を整え、最後の追い込みに取り組んでください。また、受験する学校（受験を迷っている学校も含めて）には必ず、実際に行き、自分の目で確認してください。進路決定にあたり、将来の生き方を展望し、成績による学校選びのみに終始することなく、先を見通した進路選択をしてください。過ぎた時間は取り戻せませんよ。1、2年生はこれまでを振り返り、頑張った点、努力が足りなかった点など、懇談での話を踏まえて冬休みや3学期をどう過ごせばよいか。さらには来年一年を見通してよく家庭で話し合ってください。そして、それを実行してください。中学校の3カ年はアツという間に過ぎます。



各学年の感想

（3年生）私は、この映画を見る前に「なんでこんなのを観なくちゃいけないんだろう」とめんどくさがっていました。何度も原爆について勉強しているから必要ないと思っていました。でも、この映画でわかったことは、原爆で被害にあった人の気持ちです。体験の話は前にも聞いたことはありましたが、ここまで心をゆさぶられるのは、この映画だけでした。広島、長崎での被害の体験談を聞いたたび、私は涙が止まりませんでした。…私の心も以前とは全く違うようになってきました。なぜ、映画を観る前にめんどくさいなんか思ったのだろう。いま思うとそんな自分が情けなく感じます。この映画のおかげで、もっと自分のことを見つめなおすことができました。

（3年生）私は今回この映画を見て、本当に原爆などはもう二度と起きてはいけないうちと思いました。原爆を投下した（米兵の）男の人たちが、そのときのことを「あまりの爆発力に言葉が出なかった。」「成功しても喜ぶ気になれなかった」というのを聞いて、本当にヒドイものだったのだと感じさせられました。原爆を受けた人たちも、普通の生活ができなくなったと言っていた人もいたし、「生」と「死」の選択を迫られたと言っている人もいました。家族を失った人もたくさんいました。私ははじめ校長先生が言っていた「命」と「時間」は戻らないという言葉を出し、これからいっそう大切にしていきたいと思いました。

（2年生）私は被爆者の中で差別されても生きた人の勇氣に感動した。そして、純粋に怖かった。ホラー映画は怖いと知っているから見ないけど、そんなものより何十倍も怖いと思った。戦争を早く終わらせるために仕方がなかったというが、その一言では解決できるような問題ではないと思った。被爆者が一人、また一人無くなっていく現代で、原爆の落ちた日のことやその後のことを語る人がいなくなったら、また繰り返すのではないかなと思った。でも、今の私には「怖い」や「二度と戦争をしてはいけないうち」と思うことしかできなかったのが少し悔しかった。

（2年生）この映画を見て、戦争は「してはいけないうち」ではなく「しない」に変えるべきだと感じた。原爆を落とし、心の傷、体の傷を受けた人が何人いたか。その傷を受け入れられなく、自殺した人も多くいた。土地がほしい、金がほしい、という気持ちで戦争が起こるが、それで多くの人が傷ついている。アメリカにだって、傷ついた人は多くいただろう。※



「原爆の恐ろしさ」、「戦争のむなしさ」を

平和への願い
White Light Black Rain（スティーブン・オカザキ監督）を前学年で見ました。観る前に、「時間と命は取り返しがつきません。取り返しのつかない命と時間が、戦争によりどのように扱われたのかを、頭の片隅に置いて観てください。」と話しました。皆さんは真剣に観ていました。各学年の人の感想を読ませてもらいました。一部ですが紹介したいと思います。

※そんな傷のつけ合いをして、土地や金を得て、果たして一般の市民は喜ぶのだろうか。このような傷は二度と誰も負わないようにしたい。

（1年生）「生きる勇氣」を持った人たちがたくさん出てきたこの映画を見て1945年8月6日、9日広島、長崎に何が起きていたのか、また、亡くなられた方々の思いや生きることを選んだ方たちの気持ちがわかったように思います。

戦争は言葉では言い表すことができないほど恐ろしいものです。赤ちゃんからお年寄りまで、何の罪もない人が犠牲になり、すべての人が苦しみながら死んでいくことがどれだけ悲しいことなのかということを知りました。私たちは、当たり前のように生活しているけれど原爆で亡くなられた何万人もの方々や家族を失った方々がいると思うと、私たちは本当に幸せなんだなあと改めて思いました。

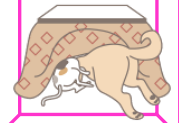
戦争を体験された方々が、生き延びて私たちの世代に語り継いでくださっていることを私たちも次世代に語り継いでいくべきだと思いました。日本が世界で唯一の被爆国だからこそ、世界に戦争の怖さを伝え、これから先、決して戦争をしないことを誓うべきだと強く思いました。

堀江中
校長室より

ほりえ

笑顔
理想

12月号
H28
12. 22



発行者
中西利彦



夜間学級見学

東野中学校

11月 11日 (金)

先月の11月11日(金) 生野区にある東生野中学校の夜間学級に本校1年生の代表21名で学校訪問しました。事前に夜間学級について学習をして訪問しました。学校訪問後、一年生の学年集会で代表の生徒が訪問の様子を発表し、感想文を文集にまとめてくれました。



大阪スマホ三力条2016

- ①長時間 画面見ないで 夢探そう
- ②(笑) ホントにあなたは笑ってる?
- ③気をつけて 一度の「公開」が一生消えない「後悔」になる

生徒会ボランティア清掃

生徒会が呼びかけてボランティア清掃「クリーン作戦」を行いました。今年の参加者は、のべ368名とたくさんの方が参加してくれました。



2年生ボランティア清掃

先月、職場体験をした2年生が地域へのお返しとして、7日(水)午後ボランティア清掃を行いました。

先月1年生が行った地域とほぼ同じですが、今回は高台地域の公園

は生徒会のクリーン作戦に任せて

そのクラスの人たちは、長堀通の

緑地帯の清掃を行いました。車から

無責任に投げ捨てられたゴミが多かったのが印象的でした。また、

6日(火)9日(金)の4日間、

生徒会が呼びかけてボランティア清掃「クリーン

作戦」を行いました。今年の参加者は、のべ368名

〇私は、夜間学級を訪問し、その生徒さんと交流しました。その中で、私が一番強く思ったことは、「ここにいる方たちの思いや辛い過去を一人でも多くの人に伝えたい。」ということでした。実際に自分が体験したことを話してくださった夜間学級の生徒さんの言葉に比べれば、私の言葉などあまり説得力がないかもしれませんが、それでも少しでも多くの人に伝えられたらと思います。◇夜間学級に通っている方は、ほとんどが朝鮮半島の方です。「韓国でも、親の關係で学ぶことができず、生活が苦しくなって日本に来てからも、朝から晩まで働いて、生きていくのにせいいっぱいだったから、もちろん、学ぶひまなんて無かった。」という話を聞いて、私が今、親の収入だけで楽な生活ができ、望まなくても学ぶことができる環境で過ごしていることは、とても「幸せ」なことなのだと気がきました。そして、「幸せ」が「当たり前」になってしまっているから、1つ1つの授業を大切にできないのではないかと思います。夜間学級の生徒さんは、学ぶべき時に学べないことは、とても辛いことだと言っていました。私たちは学ぼうと思えば、いくらでも学べる環境にいます。その環境にいて、なお、学ぶことを放棄してしまえば、必ず後悔すると思います。手遅れになってから後悔しないよう、今、せいいっぱい学ぶべきです。私は帰りぎわに夜間学級の生徒さんに、「今は就職するのに、結婚するのに、大学を出ている方が有利だ。だから、勉強できる今のうちにしっかり勉強して良い社会人になってほしい。」言われました。その言葉からは、「私たちのようになって、辛い思いをしてほしくない。後悔をしてほしくない。」という思いが伝わってきました。夜間学級に通っている方たちは、それまで学ぶことができなくて、つらい思いをしてきた人ばかりで、全員が勉強をできないまま大人になる辛さを知っています。そして、今回の交流を通して、それを教えてくれました。夜間学級の生徒さん方が数十年かけて実感したことを私たちは、人生のスタートに近い位置で知りました。私たちには、それをより多くの人に伝え、また、自分の人生に活かしていく義務があると思いました。◇長くなりましたが、私が生徒さんの言葉と自分の感想を交えて伝えたかったことは「勉強のできない大人になることは辛い」ということを実感に体験し、伝えてくれた方がいるのだから、それを無駄にしないよう、自分の人生に活かしてほしい」ということです。そのことを、私の言葉で少しでも多くの人に伝えられ、少しでも多くの人を良い方向に帰ることができたら嬉しいです。(1年女子)

この夜間学級には貧困や幼い頃、親を亡くしたなど様々な事情で義務教育を受けることができなかった人達が一生懸命勉強していました。授業を不真面目に受ける人なんて一人もいません。全員が積極的に取り組んでいました。授業が終わっても、授業に関する生徒さんからの質問がとまりません。学びたいという意欲がとても伝わりました。



保護者のみなさまへ

学期末の懇談会にご多忙中にもかかわらず、ご協力いただき、誠にありがとうございました。長かった2学期も終わり、冬休みに入ります。その過ごし方については、集会、プリントなどでお伝えしていますが、再度、ご家庭でお話をさせていただき、有意義な冬休みを送られますようお願いいたします。特に、年末年始は子どもが最も多くのお金を手にする時期でもあります。子どもが事件・事故の被害に巻き込まれたり、問題行動に走るきっかけになることのないように、よろしくお願いいたします。また、ご家族と一緒に過ごす時間が増えるかと思いますが、家族の一員として積極的に家事を分担させたり、子どもに学力の礎となる読書を心がけるようにご指導いただきますよう、重ねてご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

今年もあとわずか。来年はどんな年になるのか? 来年が明るい年でありますように!